

様式第1号

令和4年度 わが町支え愛活動支援事業実施計画書

自治会名: _____

区 分	内 容
事業を行う目的	
事業実施計画	
期待される 成果・効果	

様式第2号

令和4年度 わが町支え愛活動支援事業収支予算書

自治会名: _____

収入の部 (単位:円)

区 分	予算額	説 明
1 町補助金		
2 県補助金		
3 自主財源		
合 計		

支出の部 (単位:円)

区 分	予算額	説 明
合 計		

※専門の講師を希望される場合は記入例を参考に報償費に計上してください。
 希望されない場合は社会福祉協議会よりインストラクターを派遣しますので報償費は不用です。
 ※単価3万円未満の器具等の購入は、消耗品費に計上してください。

記入例

様式第1号

令和4年度 わが町支え愛活動支援事業実施計画書

自治会名: 〇〇〇集落

区 分	内 容
事業を行う目的	支え愛マップを作成し、災害時要支援者に対する災害時の避難支援の仕組みや平常時の見守り体制をつくるなど、災害時要支援者が身近な地域で安全安心に暮らすことが地域づくりに取り組む。
事業実施計画	<p>(1) 災害発生時、集落全員が助け合って確実に避難できるよう、支え愛マップづくり(〇月)を通じて、支援が必要な人の一人ひとりについてどんな支援が必要か確認しながら避難体制をつくる。</p> <p>(2) 支援体制の確認のため、個別の避難支援を含めた避難訓練(〇月)を実施する。</p> <p>(3) 支え愛マップづくりを通じて、災害時に限らず日常的に気配りの必要性があると判明した人には、愛の輪協力員を置いたり、民生児童委員が定期的に声かけを行うなど、平時からの見守り体制について話し合う。</p> <p>(4) 支え愛マップづくりを通じて、近所の人困っていれば支え合おうという意識の浸透を図る。</p> <p>(5) 地域に住む足の不自由な人などが円滑に避難するうえで必要となるための備品を設置することで、避難支援を住民同士で行う体制をつくる。</p>
期待される成果・効果	地域が高齢化しており、災害時の避難や日常生活が一人では難しくなっている人が身近にいることを住民全員で認識することが目標。 地域の現状を共有し、日ごろから近所同士を思いやり、困った事を支え合う気運につなげたい。

記入例

様式第2号

令和4年度 わが町支え愛活動支援事業収支予算書

自治会名: 〇〇〇集落

収入の部

(単位:円)

区 分	予算額	説 明
1 町補助金	25,000	
2 県補助金	25,000	
3 自主財源	10,000	
合 計	60,000	

支出の部

(単位:円)

区 分	予算額	説 明
報償費	10,000	支え愛マップ作成研修講師謝金 @10,000円×1人=10,000円
旅費		
需用費	10,000	
消耗品費	5,000	支え愛マップ模造紙代、色マジック代 色画用紙等事務用品
燃料費		
食糧費		
印刷製本費	5,000	支え愛マップ作成研修資料印刷代 10,000円 各戸配布用マップ印刷代 5,000円
役務費		
通信運搬費		
手数料		
保険料		
使用料及び賃借料		
備品購入費	40,000	避難用リヤカー 40,000円×1台=40,000円
負担金、補助及び交付金		
合 計	60,000	

※専門の講師を希望される場合は記入例を参考に報償費に計上してください。

希望されない場合は社会福祉協議会よりインストラクターを派遣しますので報償費は不用です。

※単価3万円未満の器具等の購入は、消耗品費に計上してください。